

# 自彊前進

題字 西村直子

NO. 44 令和6年2月2日(金)

新潟大学附属新潟中学校 学校だより

文責 教頭

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと  
(校歌3番の文言から)

## 各学年の活動

当校の一年間の行事的な活動は、新年度開始早々ときわ体育祭の準備で始まります。1学期にはすなやま完歩大会、ときわ体育祭と体育的な行事が設定されており、2学期には演劇発表会、音楽のつどいと文化的な行事が実施されます。3学期には、卒業式という大切な学校行事がありますが、この学期のほとんどは、学年単位で活動する場面が多くなります。

今年度、1学年は1月30日(火)、31日(水)の福島研修に向けて一生懸命準備してきました。現地では、震災を乗り越えようとチェンジメーカーとして活躍している方々やふたば未来学園の生徒と関わる中で、様々な価値観や考えに触れ、自分の生き方について考えを深めました。昨年までの3年間はコロナ禍で、1学年の宿泊を伴う校外学習ができませんでした。たった一泊とはいえ、普段共に過ごしている仲間と学校外で行動を共にすることはとても貴重な体験になったと思います。

2学年は、3月5日(火)から3泊4日の沖縄の旅を計画しています。3学期は最高学年に向け、よりよい集団を目指して仲間や後輩に働き掛けるリーダーシップの在り方について学ぶ大切な時期です。様々な社会問題を抱え、経済力も決して高くないにも関わらず、県民の幸福度が高いとされている沖縄をフィールドにし、様々な立場や考えの人々がどのようにジレンマを克服しようとしているのかを知ることで、自身の生き方・在り方を見つめ直す機会としたいと考えています。

3学年は、3月2日(土)の卒業式に向け、様々な卒業プロジェクトが計画、実行されています。2月19日(月)、20日(火)、22日(木)には、立志元服式も行われます。3年間の中学校生活における自己や集団の成長、他者からのサポート等を振り返り、義務教育の集大成として、附中生の自覚と誇りをもって卒業を迎える姿を後輩や保護者に見せ、その想いを伝えることをねらいとしています。

どの学年の教育活動も、当校の教育目標を踏まえた大切なものです。卒業式まであと1ヶ月となり、3学期はとても短いです。進級、進学に向け、自己や集団の成長を通し、生き方を求めて学び続ける生徒であり続けてほしいと願っています。一日一日を大切に過ごしていきましょう。



復興後の再建された街について説明を受けている様子



沖縄の旅の探究学習で現地の人とやり取りしている様子



3年生面接練習の様子

